

平成 16 年 7 月 8 日

応用物理学会北海道支部
会員各位

応用物理学会北海道支部

講演会のお知らせ

下記講演会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

演題：太陽の磁気活動と地球環境

講師：桜井 隆 氏 （国立天文台 太陽物理学研究系 教授）

日時：平成 16 年 7 月 28 日（水） 13:30～15:00

場所：北海道大学大学院工学研究科 物理工学系大会議室（A1-17）

後援：応用物理学会北海道支部

講演の要旨

地球は、太陽の大気の外縁（太陽風）の中を運行しているので、太陽で起こるいろいろな現象の影響を受ける。その中で最も時間スケールの短いものは、数十分から数時間続くフレア爆発とよばれる現象で、その 1～2 日後には地球に影響が及び、オーロラや磁気嵐が起こる。11 年ごとに変動する黒点の発生数に連動して、太陽の明るさも 0.1% 程度変動している。数百年のスケールで見ると、黒点数の増減は常に 11 年ごとに起こるわけではなく、長周期の変動もあることがわかっている。これらの活動の起源は太陽内部での周期的な磁場の生成であるが、その基本メカニズムは実はまだ解明されておらず、太陽物理学の最大の研究テーマとなっている。

世話人 馬場 直志

北海道大学大学院工学研究科 量子物理工学専攻

電話：011-706-6718 nbaba@eng.hokudai.ac.jp

本講演会の PDF 版案内は、

http://annex.jsap.or.jp/hokkaido/H16Seminar_sakurai.pdf にてご覧になれます。